

	○	△	×	-	
環境整備・体制整備					
1 利用定員が指導訓練室などスペースとの関係で適切であるか	80%	20%			利用開始時には低学年だった利用者たちが、高学年や中学生となり身体が大きくなっているため、今までは適切と感じていたが、今は狭く感じるがあります。
2 職員の配置数は適切であるか	80%	20%			事業所運営に必要な人員配置基準は満たしています。
3 事業所の設備などについて、バリアフリー化の配慮が適切になされているか		100%			・陸上、プール共に入室には階段があり、それ以外の入室方法がない設計です。改善には大掛かりな工事が必要になるため、現状での設備で安全管理を徹底します。 ・視覚支援が必要な方には階段と柱が危険箇所と考えられます。クッション材使用や付き添いなど安全対策を行います。
業務内容					
4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	60%	40%			職員全体で日々取り組んでいます。
5 保護者向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者の意向などを把握し、業務改善につなげているか	100%				保護者アンケートで頂いたコメントや、日頃の連携・会話などから頂いたご意見は改善に活かしています。
6 この自己評価の結果を事業所の会報やホームページ等で公開しているか	80%	20%			ホームページにて公開しています。
7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	60%			40%	相談支援事業所などにも意見をもらうようにしています。
8 職員の資質の向上をおこなうために研修の機会を確保しているか	60%	40%			スタッフ全員各種研修を年間通して受講しています。
適切な支援の提供					
9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	80%	20%			利用者・家庭の背景を十分情報収集できていないところがあると思います。時間を有効に活用してより多くの情報を得た上で支援計画を作成していくよう努めます。
10 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	80%		20%		個人の価値観での判断にならないようにアセスメントを行うようにしています。
11 活動プログラムの立案をチームで行っているか	100%				基本的には当日メイン担当の職員が中心に立案しますが、全体でより良い方法にするために意見交換したりしてみんなで関わってプログラムを実施します。
12 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	100%				サクスでは、バリエーション豊かなプログラムが自慢のポイントです。スタッフは日々、子どもたちが楽しく活動できるよう、精一杯取り組んでいます。
13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	100%				平日、休日、長期休暇それぞれ利用人数が違うので、メンバー構成や人数に応じて課題設定しています。
14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	100%				集団の活動で学べること、個人ごとに支援する必要があることを組み合わせ一人一人の支援を計画しています。
15 支援開始前には職員間で必ず打ち合わせし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	100%				毎日支援前には、その日の支援内容に関して・役割分担の打ち合わせ会議を行っています。
16 支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点などを共有しているか	100%				毎日支援終了後には、その日の利用者の様子や行った支援の確認と振り返りの会議を行っています。
17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	100%				個人ファイルを作成し、支援の様子・行った支援について記載し、その支援を検証できるようにしています。また、記録作成のマニュアルを用意し、偏りない記録ができるようにしています。

	○	△	×	-	
18 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	80%	20%			定期的にモニタリングを行い、次の個別支援計画の作成に反映しています。モニタリングは、保護者・全支援者の意見も取り入れて総合的に行います。
19 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ、支援を行っているか	80%	20%			ガイドラインをスタッフルームに閲覧できるよう設置し、支援の立案に活用できるようにしています。
20 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	80%	20%			基本的に管理者または児発管が出席しています。
21 学校との情報共有（年間計画、行事予定等の交換、下校時刻の確認など）、連絡調整（送迎時対応、トラブル発生連絡）を適切に行っているか	60%	40%			一部の児童に対してのみになっている現状です。ご本人の支援を多面的に行っていくため、学校との連携を強化していきます。
22 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	40%			60%	医療との連携が重要な児童に関しては、緊急時の対応に関して医療と連携体制をもち、また対応のレクチャーも頂いています。
23 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定子ども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	60%	40%			支援開始時に過去の支援伝達があればお伺いし、放課後デイでの支援の立案に活用させて頂いています。その他必要な場合に各事業所に連携を取らせて頂いています。
24 学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供するなどしているか		40%		60%	該当する児童はそもそも少ないのですが、就職した利用者の連携はできていない現状です。卒業が近い年齢の利用者が多くなってきているので、情報提供できるように記録等を作成して備えていきます。
25 児童発達支援センターや発達障害支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	60%	20%		20%	随時開催されている研修等には参加し、支援に関する知識をアップデートしています。
26 放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか			60%	40%	現在サンクスは、サンクス内での活動を中心としていますのでこの機会はありませんが、ご要望があれば設定することは可能です。
27 (地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	20%	20%	20%	40%	自立支援協議会には参加権は頂けていないのですが、支援現場の声を上げるためのルートには意見を届けています。
28 日ごろから子どもの状況を保護者と伝えあい、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	100%				ほとんどの家庭とはできていると思う、とのスタッフの自己検証となっています。
29 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレントトレーニング等の支援を行っているか	80%		20%		現在はご要望がある方に対しての個別対応を取らせて頂いています。
保護者への説明責任等					
30 運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	100%				契約時に細かな点まで説明を徹底しています。一方的な説明にならないよう、質問を頂きながら進めています。
31 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	100%				毎利用時の送迎の際に、個々にお話を伺い、随時ご対応させて頂いています。
32 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	40%	40%	20%		オンラインで行っているため、保護者同士の連携は十分とは言えない状況です。今後の感染状況によっては保護者同士の連携ができる形式を設定していきたいと考えています。
33 子どもや保護者からの苦情について対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	100%				相談窓口を設けていますが、できるだけ日常の会話の中で思いを話しやすい関係性を構築することを第一に取り組んでいます。もし苦情があった場合には検証会議を開き、早急に対応する体制を設定しています。
34 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	80%	20%			随時、事業所掲示板やホームページでお知らせして周知するようにしています。

	○	△	×	-	
35 個人情報に十分注意しているか	100%				事業所内での個人情報の管理はもちろんですか、連携等の会話や資料での内容管理も厳重に管理し、連携等で必要な情報は承諾を得て使用します。
36 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	100%				意思疎通・情報伝達は人によって活用しやすい方法が異なるので、ご本人が活用しやすい方法を個々に設定しています。また、関係構築や雰囲気作りにも配慮するようスタッフで努力しています。
37 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか			40%	60%	事業所で行事を行っていないので地域の方を招待することはありませんが、地域の方とのつながりは大切にしています。
非常時等の対応					
38 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知を図っているか	100%				左記マニュアルは全て用意し、事業所にて閲覧できるようにしています。
39 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	100%				各種避難訓練は年間計画にて設定し、該当月に実施しています。用品等も定期的に在庫チェックを行っています。
40 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保するなど適切な対応をしているか	100%				毎年全スタッフが公的な虐待防止権利擁護研修を受講し、また事業所内でも社内研修を行っています。
41 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明了解を得たうえで放課後等デイサービス計画に記載しているか	100%				身体拘束の3要件とその際の対応や記録等を把握した上で、支援において実施の可能性がある利用者にはご本人・保護者にも説明の上支援計画に記載してサインを頂いています。
42 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	100%				医師から直接レクチャーを受け、緊急時の対応に備えています。また、定期的にスタッフで対応の練習を行っています。
43 ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	100%				専用ファイルを作成し、毎日の支援終了後に確認し合ったことを記載しています。また、再発防止の策も検討したことを記載しています。